

|           |    |    |    |        |
|-----------|----|----|----|--------|
| 看護学部／看護学科 | 職名 | 講師 | 氏名 | 安河内 静子 |
|-----------|----|----|----|--------|

## 1. 教員紹介・主な研究分野

九州大学医学部附属病院周産母子センターで勤務後(助産師), 福岡市で勤務後(保健師), 2004年4月より本学に着任, 現在に至る。国際医療福祉大学大学院保健医療学専攻課程修了(保健医療学修士)。女性がエンパワーメントしていく過程を支援するマザークラスの開催、育児サロンの開催、小中学校での性教育など思春期保健から女性のライフサイクルを見据えた教育活動を行っている。研究分野は妊産婦の禁煙プログラムに関する研究、乳児の皮膚と洗浄法に関する研究などに取り組んできた。現在は、妊娠期から産後の周産期のボンディング障害に関する研究に取り組んでいる。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

### ②その他最近の業績

<学会発表>

### ③過去の主要業績

- ・ 古田祐子, 安河内静子. (2016) 簡易型 S 皮膚洗浄法が肌トラブルを有する乳児と実施者である養育者に及ぼす影響, 福岡県立大学看護学部紀要 15, 福岡県立大学, 11-20.
- ・ 安河内静子.古田祐子,佐藤香代. (2015) .大学院における助産師教育に対するニーズ調査, 福岡県立大学看護学部紀要 14, 福岡県立大学, 53-62 .
- ・ 安河内静子, 佐藤香代, 吉田静, 石村美由紀, 森純子, 鳥越郁代. (2010). 医療者が「身体感覚活性化マザークラス」を体験した効果-体験録の分析から-. 福岡県立大学看護学部紀要 7 (2), 63-71.

## 3. 外部研究資金

## 4. 受賞

## 5. 所属学会

日本助産師会、日本母性衛生学会、日本助産学会、日本禁煙科学会、日本思春期学会

## 6. 担当授業科目

【看護学部】教養演習・1単位・1年・前期，女性看護学概論・1単位・2年・前期，女性看護学・2単位・2年・後期，女性看護演習Ⅰ・1単位・3年・前期，女性看護学演習Ⅱ・3～4年・通年，女性看護学実習・2単位・3～4年・通年，専門看護学ゼミ・2単位・3年・通年，卒業研究・2単位・4年・通年

【看護学研究科】ホリスティック助産学特論・1単位・1年・前期，コミュニティ助産学特論・1単位・1年・後期，マネジメント助産学特論・2年 実習Ⅰ・2単位

## 7. 社会貢献活動

福岡県田川保健所感染症診査協議会委員  
福岡県助産師会理事（勤務助産師部会長）

## 8. 学外講義・講演

## 9. 附属研究所の活動等